

福井県衛生環境研究センター活動報告 概要

発表演題名	生物応答試験を用いた流入河川水の流入負荷影響調査
発表学会名	令和7年度日本水環境学会中部支部研究発表会
発表者名	蔦原 仁平（環境部）
開催場所	福井県国際交流会館B1Fホワイエ（福井県福井市）
発表日時	令和7年11月28日（金）12：30～14：00
発表内容	<p>福井県内にある北潟湖と三方五湖は汽水湖である。汽水湖は河川の末端に位置するため、流域全体の負荷が集積することで有機汚濁が進行しやすい。両汽水湖の流入河川は、その流域に森林のほか、水田、畑、住宅および事業所がある。このため、これらの排水や処理水中に含まれる栄養塩や農薬をはじめとする化学物質は流入河川を通じて湖に流入する。このことから、湖に棲息する生物にとっては流域由来の影響を受けやすい環境といえる。</p> <p>棲息する水生生物へ与える影響を評価する手法として、生物応答試験がある。本手法では、特定の化学物質等に対象を絞らずに試料を総体として評価できること、また身近な生物への影響を感覚的に理解できることなどのメリットがあり、現行の化学分析を主体とする常時監視調査の手法とは相補的な関係にある。</p> <p>そこで、流域負荷から受ける影響を評価するために藻類を対象とした生長阻害試験系と増殖ポテンシャル試験系を構築し、年間を通じた調査を行うことで、季節的な湖内藻類への影響を評価した。</p>